

# 朝日Nvest グローバル バリュース株オープン (資産成長型)

追加型投信／海外／株式

## 交付運用報告書

第3期(決算日2023年9月19日)

作成対象期間(2022年9月17日～2023年9月19日)

第3期末(2023年9月19日)	
基準価額	12,005円
純資産総額	813百万円
第3期	
騰落率	17.8%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しています。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めています。運用報告書(全体版)は、朝日ライフ アセットマネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記ホームページの「ファンド情報」等から当ファンドのファンド名称を選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧・ダウンロードすることができます。

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「朝日Nvest グローバル バリュース株オープン(資産成長型)」は、このたび、第3期の決算を行いました。

当ファンドは、日本を除く世界各国の株式にグローバルな視点で投資し、キャピタルゲインの獲得および配当等収益の確保を目指して運用を行いました。バリュース株投資で評価の高い米ハリス・アソシエイツ社に運用を委託しています。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも、一層のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

## 朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

東京都杉並区和泉一丁目22番19号

<お問い合わせ先>

ホームページ: <https://www.alamco.co.jp/>

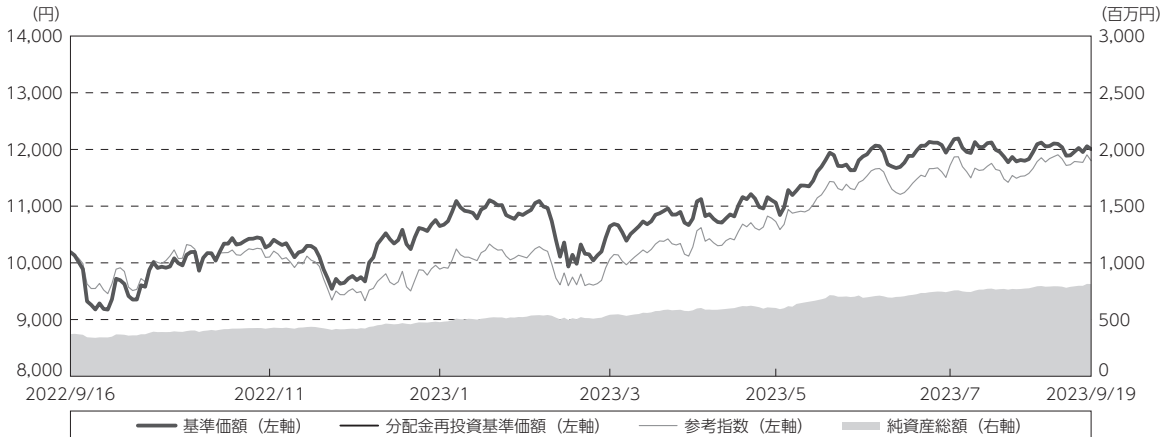
フリーダイヤル: 0120-283-104

(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2022年9月17日～2023年9月19日)



期首：10,189円

期末：12,005円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：17.8% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 参考指数は、MSCI All Country World Index ex Japan (Price Index、米ドルベース)を基に、当社で対顧客電信売買相場仲値(円/ドルレート)を使って円換算したもので、当該外貨建指数については基準価額への反映を考慮して前営業日の値を採用しています。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

## ○基準価額の主な変動要因

主な上昇要因としては、インフレの鈍化によりFRB(米連邦準備理事会)が利上げペースを減速させたことや、堅調な企業決算が発表されたこと、ドルやユーロに対して円安となったことなどが挙げられます。

主な下落要因としては、期初にパウエルFRB議長がインフレ抑制を最優先する姿勢を示したことや、2023年8月に米国債の増発見通しを受けた需給悪化懸念などから米長期金利が上昇したことなどが挙げられます。

## 1万口当たりの費用明細

(2022年9月17日～2023年9月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	215 (133) ( 78) ( 5)	1.996 (1.231) (0.721) (0.044)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率  委託した資金の運用の対価  交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価  運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	4 ( 4)	0.035 (0.035)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際に支払う手数料です。
(c) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	4 ( 4)	0.040 (0.040)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金です。
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( そ の 他 )	5 ( 4) ( 1) ( 0)	0.049 (0.037) (0.011) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用です。 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用です。  信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	228	2.120	
期中の平均基準価額は、10,791円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含みます。)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

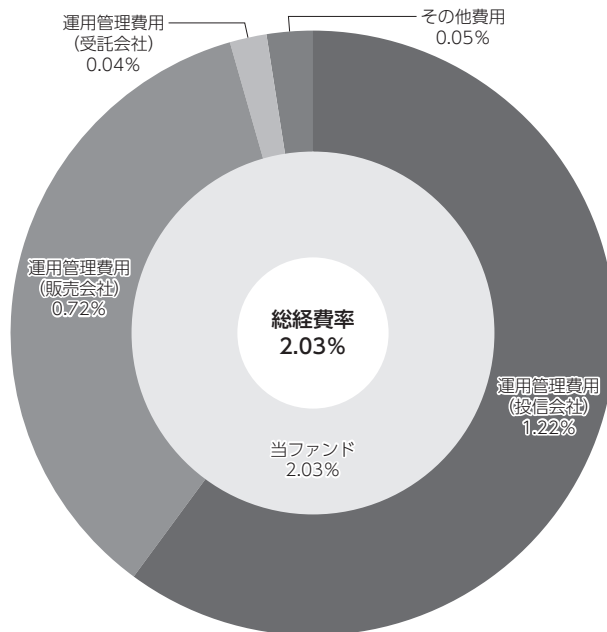
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含みます。)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は2.03%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

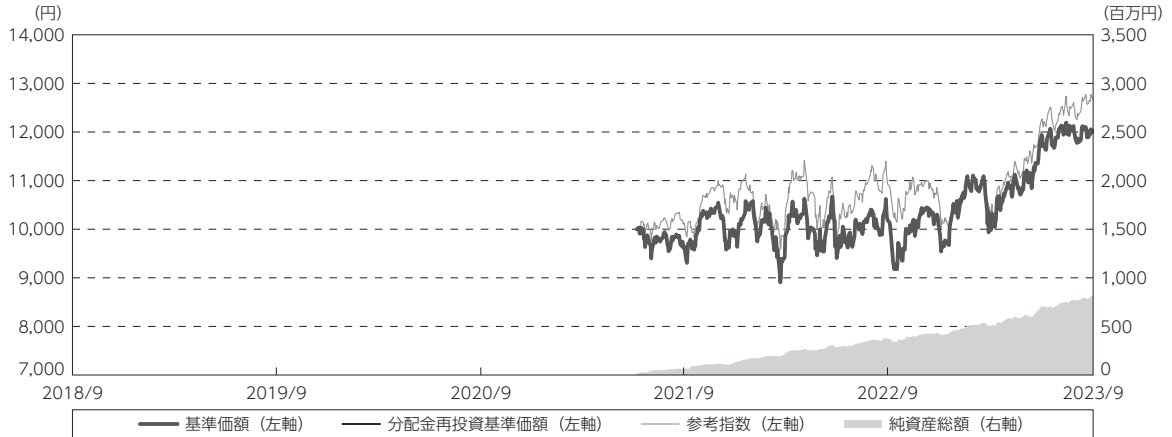
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2018年9月18日～2023年9月19日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドの設定日は2021年6月25日です。
- (注) 参考指数は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2021年6月25日 設定日	2021年9月16日 決算日	2022年9月16日 決算日	2023年9月19日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,643	10,189	12,005
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 3.6	5.7	17.8
参考指数騰落率 (%)	—	1.2	8.0	15.8
純資産総額 (百万円)	20	64	371	813

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2021年9月16日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

参考指数は、MSCI All Country World Index ex Japan (Price Index、米ドルベース)を基に、当社で対顧客電信売買相場仲値(円/ドルレート)を使って円換算したもので、当該外貨建指数については基準価額への反映を考慮して前営業日の値を採用しています。

**投資環境**

(2022年9月17日～2023年9月19日)

当期の海外株式市場は、一時的に下落する局面はあったものの、前期末比では上昇となりました。

期初は、FRBが0.75%の利上げを行い、パウエルFRB議長がインフレ抑制を最優先する姿勢を改めて示したことや、米雇用統計が強い内容となり長期金利が上昇したことなどを受けて下落しました。

しかしその後は、市場予想を上回る企業決算の発表などを受けて反発しました。2022年11月初めのFOMC(米連邦公開市場委員会)では0.75%の利上げが行われたものの、その後発表された米CPI(消費者物価指数)が伸びの鈍化を示すと、利上げペースが鈍化するとの見方が広がり、海外株式市場は更に上昇しました。

12月のFOMCでは利上げ幅が0.5%に縮小されたものの、パウエルFRB議長が金融引き締めを長期化を示唆したことなどから、海外株式市場は12月に下落しましたが、2023年1月に入り、米雇用統計において平均時給の伸びが市場予想を下回ると、再び上昇に転じました。その後も、米CPIが前月比で小幅低下したことや、2月初めのFOMCで利上げ幅が0.25%に縮小されたことなどから、上昇しました。

3月半ばにかけては、市場予想を上回る伸びを示した物価指標の発表や、FRB高官によるタカ派的な発言、米国銀行の相次ぐ破綻などから、海外株式市場は調整しました。しかしその後、資金繰りが懸念されていた米中堅銀行に対して米大手11行からの支援策が発表されたことや、UBSが経営不安の高まったクレディ・スイス・グループを買収すると報じられたことなどを受けて、反発しました。

その後は一進一退となりましたが、5月終わりに、米大手半導体企業がAI(人工知能)関連の需要の拡大を受けて堅調な決算や業績見通しを発表すると、関連銘柄を中心に海外株式市場は上昇しました。その後も、米連邦債務の上限を停止する法案が可決されたことや、発表されたインフレ指標が減速を示したこと、米主要銀行が堅調な決算を発表したこと、0.25%の利上げが決定された7月のFOMC後の記者会見においてパウエルFRB議長が9月のFOMCで政策金利を据え置く可能性に言及したことなどを受けて上昇し、海外株式市場は7月終わりに期中高値を付けました。

8月に入ると、米国債の増発見通しを受けた需給悪化懸念などから米長期金利が上昇したことや、米PPI(卸売物価指数)が市場予想を上回る上昇となったことなどから、海外株式市場は調整しました。

海外株式市場は結局、前期末比では上昇となりました。地域別では、米国市場、欧州市場、エマージング市場とも上昇となりましたが、上昇幅は米国市場が最も大きくなりました。

為替市場では、円はドルに対して円安となり、ユーロに対してはより大幅な円安となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2022年9月17日～2023年9月19日)

主要投資対象である朝日Nvest バリューストック型 外国株マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券に投資することにより、実質的な運用をマザーファンドで行っています。マザーファンドは主として日本を除く世界各国の株式にグローバルな視点で投資し、キャピタルゲインの獲得および配当等収益の確保を目指して運用を行います。

バリューストック投資で評価の高い米ハリス・アソシエーツ・エル・ピー(以下「ハリス・アソシエーツ社」といいます。)に運用を委託しています。

期初に保有していた銘柄のうち当期中に全売却したものは以下のとおりです。これらは売却目標に達したか、ポートフォリオの価値を高める、より魅力的な銘柄を組入れるために売却したものです。

銘柄	投資国	業種
アクシス銀行	インド	銀行
アーコニック	アメリカ	素材
ブックイング・ホールディングス	アメリカ	消費者サービス
コンチネンタル	ドイツ	自動車・自動車部品
クレディ・スイス・グループ	スイス	金融サービス
クッシュマン・アンド・ウェイクフィールド	アメリカ	不動産管理・開発
フローサーブ	アメリカ	資本財
グルポ・テレビサ	アメリカ	電気通信サービス
ハウメット・エアロスペース	アメリカ	資本財
キューリグ・ドクターペッパー	アメリカ	食品・飲料・タバコ
リバティ・グローバル(クラスA)	アメリカ	電気通信サービス
マスターカード	アメリカ	金融サービス
NOV	アメリカ	エネルギー
ピントレスト	アメリカ	メディア・娯楽
テネット・ヘルスケア	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス

(注) 業種はGICS(世界産業分類基準)に基づくものです(以下同じです。)

一方、当期に新規に組入れを行った主な銘柄と概要は以下のとおりです。

銘柄、投資国、業種	概要
アメリカン・インターナショナル・グループ アメリカ 保険	企業、各種機関および個人を対象に、損害保険や生命保険、退職(老後)プランサービスを提供しています。
キャップジェミニ フランス ソフトウェア・サービス	IT(情報技術)コンサルティング・サービスを提供しています。
キャピタル・ワン・フィナンシャル アメリカ 金融サービス	預金業務のほか、クレジットカード、投資商品、ローン、およびオンラインバンキングサービスを手掛ける商業銀行です。
シスコ・システムズ アメリカ テクノロジー・ハードウェアおよび機器	ルーターやスイッチ、モデムなどのインターネット向けネットワーク機器を提供しています。
コノコフィリップス アメリカ エネルギー	原油、天然ガス、液化天然ガスなどの探査、生産、輸送を行っています。
コアブリッジ・フィナンシャル アメリカ 金融サービス	生命保険や退職金ソリューションを提供する金融サービス企業です。
ダナハー アメリカ 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	医療診断機器、ライフサイエンス研究機器、水質検査機器などの設計・製造・販売を行っています。
エンビスタ・ホールディングス アメリカ ヘルスケア機器・サービス	子会社を通じて歯科医向けに歯科治療用品・機器・サービスを提供しています。
インターコンチネンタル取引所 アメリカ 金融サービス	国際商品取引所や金融商品取引所を運営しています。
アイキューヴィア・ホールディングス アメリカ 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	医療テクノロジー・ソリューションや受託研究サービスを提供しています。
KKR アメリカ 金融サービス	プライベート・エクイティ、エネルギー、インフラ、不動産などへの投資を行う投資会社です。
セント・ジェームズ・プレース イギリス 金融サービス	アドバイザーを通じて資産運用アドバイスやサービスを手掛ける金融サービス会社です。



## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年9月17日～2023年9月19日)

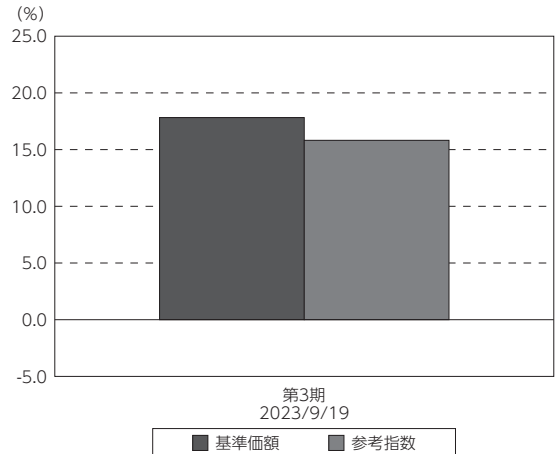
当ファンドは運用の目標となるベンチマークはありません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数が15.8%上昇したのに対し、基準価額は17.8%の上昇となり、参考指数を2.0%上回る結果となりました。個別銘柄選択効果がプラスに働いたことがプラスの乖離要因となりました。

個別銘柄では、ゼネラル・モーターズ(アメリカ、自動車・自動車部品)、セント・ジェームズ・プレス(イギリス、金融サービス)、バンク・オブ・アメリカ(アメリカ、銀行)などがマイナスに寄与しましたが、アルファベット(クラスA)(アメリカ、メディア・娯楽)、オラクル(アメリカ、ソフトウェア・サービス)、アリアンツ(ドイツ、保険)などがプラスに寄与しました。

基準価額と参考指数の対比(期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金込み(税込み)です。

(注) 参考指数は、MSCI All Country World Index ex Japan (Price Index、米ドルベース)を基に、当社で対顧客電信売買相場仲値(円/ドルレート)を使って円換算したもので、当該外貨建指数については基準価額への反映を考慮して前営業日の値を採用しています。

## 分配金

(2022年9月17日～2023年9月19日)

当期の分配金につきましては、収益分配方針に基づき、基準価額水準などを勘案して、見送らせていただきます。

なお、収益分配にあてず信託財産内に留保した利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第3期
	2022年9月17日～ 2023年9月19日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,004

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益および当期の収益以外は、小数点以下を切捨てて表示しているため、合計した額が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

マザーファンドへの投資により、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。ハリス・アソシエイツ社では、独自の集中したファンダメンタルズ調査に基づき、企業の持つ本来価値から相当割安な価格で取引されていて、かつ経営陣が実質オーナーとしての自覚を持って行動しているような企業を探し出して投資します。ポートフォリオは、厳格な基準に基づいて絞り込まれ、構築され、モニタリングされています。どのような市場環境においても、投資は長期的な視野に立ち、常に優れたリターンを得ることを目的に行われます。今後とも徹底したバリューストック哲学に基づいてポートフォリオの運用を続けてまいります。ハリス・アソシエイツ社では、ポートフォリオは引き続き投資魅力度の高い銘柄で構成されており、長期的に優れたリターンをご提供できるものと考えています。

## お知らせ

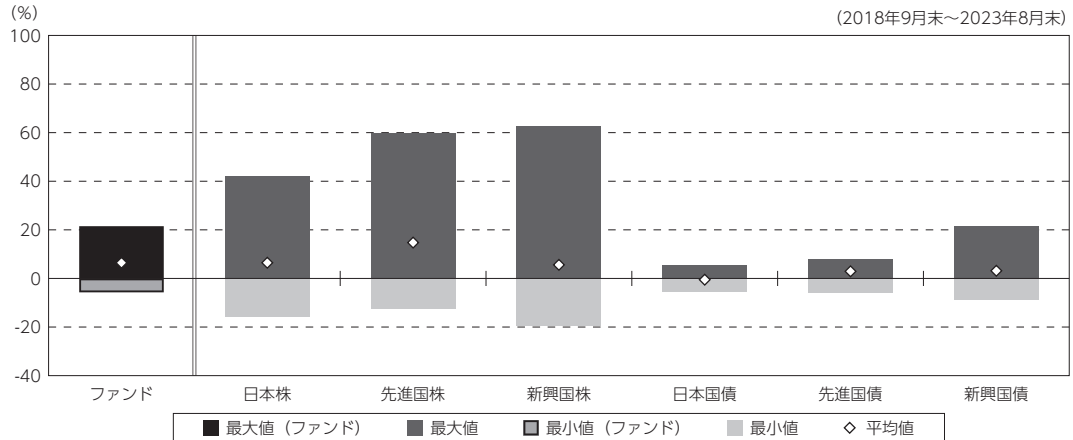
該当事項はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	主として日本を除く世界各国の株式に投資し、信託財産の長期的な成長を目指して、運用を行います。	
主要投資対象	朝日Nvest グローバルバリューストックオープン(資産成長型)	朝日Nvest バリューストック型 外国株マザーファンド受益証券
	朝日Nvest バリューストック型 外国株マザーファンド	日本を除く世界各国の株式
運用方法	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として、日本を除く世界各国の株式にグローバルな視点で投資し、キャピタルゲインの獲得および配当等収益の確保を目指して運用を行います。バリューストック投資で評価の高い米ハリス・アソシエイツ社に運用を委託します。対円での為替ヘッジは、原則として行いません。	
分配方針	年1回(9月16日。休業日の場合は翌営業日)に、配当等収益および売買益などのうちから、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行う方針です。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないこともあります。収益分配金額の決定にあたっては、複利効果による信託財産の成長を目指すため、原則として分配を極力抑制する方針とします(基準価額水準、市況動向等によって変更する場合があります)。	

## (参考情報)

## ○ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	21.5	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 5.7	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	6.5	6.5	14.8	5.6	△ 0.5	2.9	3.2

グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注) 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年9月から2023年8月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、ファンドについては設定日が2021年6月25日であるため2022年6月以降の年間騰落率を用いています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2023年9月19日現在)

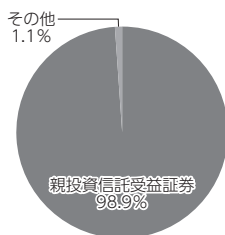
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第3期末
朝日Nvest バリューストック型 外国株マザーファンド	98.9%
組入銘柄数	1銘柄

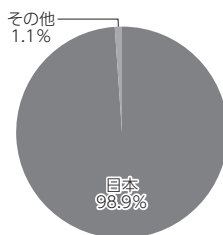
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

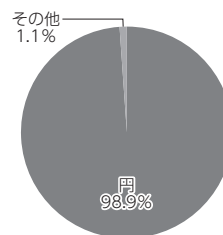
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

## 純資産等

項目	第3期末	
	2023年9月19日	
純資産総額	813,132,906円	
受益権総口数	677,326,632口	
1万口当たり基準価額	12,005円	

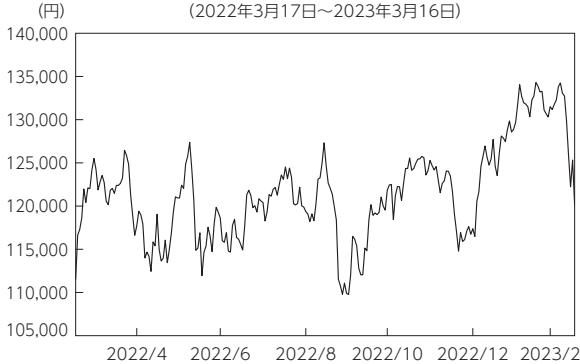
(注) 期中における追加設定元本額は374,288,095円、同解約元本額は61,768,163円です。

## 組入上位ファンドの概要

## 朝日 Nvest バリュース株型 外国株マザーファンド

## 【基準価額の推移】

(2022年3月17日～2023年3月16日)



## 【1万口当たりの費用明細】

(2022年3月17日～2023年3月16日)

項目	当期	
	金額 円	比率 %
(a) 売買委託手数料 (株 式)	32 ( 32)	0.027 (0.027)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	49 ( 49)	0.041 (0.041)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	62 ( 61) ( 2)	0.052 (0.050) (0.001)
合 計	143	0.120

期中の平均基準価額は、121,237円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含みます。)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含みます。)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

## 【組入上位10銘柄】

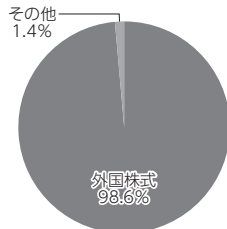
(2023年3月16日現在)

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	米ドル	アメリカ	5.9%
2 LLOYDS BANKING GROUP PLC	銀行	英ポンド	イギリス	4.1%
3 MERCEDES-BENZ GROUP AG	自動車・自動車部品	ユーロ	ドイツ	4.1%
4 BAYER AG	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	ユーロ	ドイツ	3.5%
5 TE CONNECTIVITY LTD	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	米ドル	アメリカ	3.4%
6 ALLIANZ SE	保険	ユーロ	ドイツ	3.3%
7 GENERAL MOTORS CO	自動車・自動車部品	米ドル	アメリカ	3.3%
8 JULIUS BAER GROUP LTD	各種金融	スイスフラン	スイス	3.0%
9 ALIBABA GROUP HOLDING LTD	小売	香港ドル	香港	3.0%
10 RYANAIR HOLDINGS PLC-SP ADR	運輸	米ドル	アメリカ	2.9%
組入銘柄数	44銘柄			

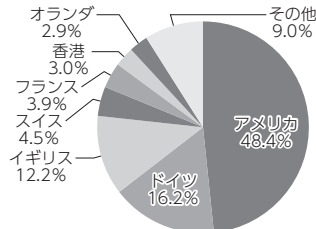
(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

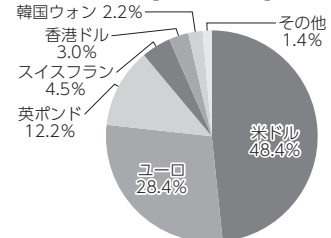
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

## ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害および一切の問題について、何らの責任も負いません。

### ○東証株価指数(TOPIX) (配当込み)

東証株価指数(TOPIX) (配当込み)は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

### ○MSCI – KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### ○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

### ○FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド(円ベース)は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。